

申13号 2023年度夏季手当等に関する申し入れ

JR東労組本部は申13号2023年度夏季手当等に関する申し入れの第2回団体交渉を行いました。交渉では、コロナ禍3年間の我慢と奮闘により3期ぶりの黒字転換を実現してきたことや物価上昇に賃金が追いついていない等、労働実感や生活実感を主張してきました。

しかし会社は「営業利益が1000億円に届いていない」「順風満帆とは言えない」「有利子負債の増加」「引き続き厳しい環境」であることを述べています。そのような中、第2回交渉後の若手社員の声を一部紹介します。

第2回交渉後の若手社員の声

- ・ コロナ前の9割まで戻った。物価高や労働条件を考えると多く出すべき。
- ・ 私たちの努力によって黒字に転換してきたのに、出さない理由ばかり。
- ・ 黒字になっても賃金を抑え込もうとする姿勢に疑問。
騙されない！しっかりと社員の努力に報いるべきだ！！
- ・ 組織再編で業務量が増えているのに、賃金が増えない事に納得いかない！
積み上げてきた結果だけでなく、その過程も見してほしい。
- ・ 離職する人が多いことについて、受け止めるだけでなく対策を考えるべき
- ・ 賃金が少なければ退職者が増えるのは当たり前。
満額回答でなければ社員の仕事に対するモチベーションも上がらない！
- ・ 今の賃金では生活実態に合っていない。だから離職に繋がっている。
- ・ 役員報酬は上がっている。自分たちが増えないのはおかしい。
- ・ 社員が尽力していることや物価高で生活に影響していることが分かっているならば、満額回答すべきだ！
- ・ 働いていて楽しくないし、将来のビジョンが見えない。
- ・ 賃金が上がっている実感がない。

会社は職場の努力に報いるべきだ！私たちは騙されない！！



JR東労組に結集し共に声を上げよう！！

